

インドからのJETプログラム参加者の決定

平成29年度のJETプログラムにおいては、インドより、外国語指導助手（ALT）1名、国際交流員（CIR）1名、計2名が招致されることが決定しました。

インドからの本プログラムへの新規参加は、平成22年以降7年ぶりとなります。

参加者は、7月30日に来日し、3日間のオリエンテーションの後、それぞれの配属先に配属されます。

職種	人数	配属地域
外国語指導助手 (Assistant Language Teacher: ALT)	1名	兵庫県川西市
国際交流員 (Coordinator for International Relations: CIR)	1名	富山県

ALT：小学校や中学校・高等学校等で外国語活動や外国語授業等の補助・協力に従事。

CIR：地方公共団体の国際交流担当部局等に配置され、国外交流活動に従事。

【参考】

1. JETプログラムとは

JETプログラムとは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下、地方公共団体等が主体となって実施している国際的な人的交流事業です。本事業は、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的とし、本年度で31年目を迎えます。

来日する参加者は、日本全国の学校で外国語を教えたり、地域における国際交流活動に携わることにより、地域の住民と様々な形で交流を深めています。

参加者の累計が平成29年度で66,369人となる、世界最大規模の人的交流プログラムであり、全国各地の地域における国際化に寄与するとともに、参加者は帰国後も日本理解の促進に貢献しています。

2. 平成29年度JETプログラム新規参加者（インドからの来日者）の今後の予定

○来日直後オリエンテーション

日時：7月31日（月）～8月2日（水）

東京でのオリエンテーションを受けた後、配属地域へ赴任し、学校での語学指導や地域における国際交流活動等に従事する予定です。

3. 配属地域とインドとの関係

(1) 兵庫県とグジャラート州

2016年11月12日、兵庫県とグジャラート州は「相互協力に関する覚書」を締

結しました。

(2) 富山県とアンドラ・プラデシュ州

2015年12月11日、富山県とアンドラ・プラデシュ州は「交流・協力に関する覚書」を締結しました。

JETプログラムの詳細は以下のリンクもご参照ください。(総務省のプレスリリース)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei05_02000085.html

(了)